

特集 YOKKAICHI PORT 1 — 国際拠点港湾のきのう、きょう、あした —

港で栄えた四日市 来年は開港120周年

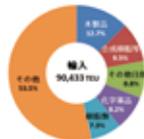
地域経済を支えて さらに、未来へ

明治32（1899）年に貿易ができる港として開港した四日市港。市内で生産された生糸の輸出に始まり、綿花、羊毛の輸入港から、昭和の高度成長期のコンビナート形成に伴い工業港へと変貌。さらに貨物のコンテナ化に対応し、コンテナ貨物やLNG（液化天然ガス）、石炭、完成自動車など取り扱う国際拠点港湾として成長を続ける四日市港を紹介した。



④ 四日市港外貨コンテナ取扱個数

平成29年外貨コンテナ取扱個数		単位：TEU	
	個数	構成比	前年比
計	196,950	100.0	109.8
輸出	106,517	54.1	108.8
輸入	90,433	45.9	110.9



④ 四日市港外貨コンテナ取扱量の推移



④ 四日市港のコンテナ定期航路

週17サービス
(2018年7月現在)

